

事業名	つながる町だふあみりー×つるっこ企画 ベビー&キッズ用品 くるくるリユースタイム
目的	・地域の方の活動を支援し活躍を促し、地域力の向上を目指す。 ・子育て世代の新規の利用者の獲得と定着をはかる。
日時	原則毎月第 3 金曜日午前 10 時 30 分～11 時 45 分
主な対象と 参加者数	未就学児とその保護者 10/12(100 名)、11/17(72 名)、12/15(80 名)、1/19(103 名)、次回:2/16
講師・協力者 等	つながる町だふあみりー
内容	ベビー&キッズ用品の譲渡、不要になったベビー用品の持ち込み つるっこは、場所の提供、周知(おたより、HP、ポスター掲示)、当日補助を行う。
様子等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つるっこ利用者からリユース会を実施してほしいというご要望と、ただ ON で実施していた「つながる町だふあみりー」の皆さんから、開催場所を増やしたいというご要望とが合致し、今年度10月 12 日(金)に初めてリユース会を開催しました。</li> <li>・開催場所は 1 階工作室「わくわく」の部屋で実施しています。50～130 センチくらいまでのベビー&amp;キッズ用品やマタニティー用の洋服などをリユースで、必要な方へ 3 点まで無料で提供しています。</li> <li>・洋服だけでなく、靴やおもちゃ、乳幼児向け椅子、メリー、ベビーベッドなど大型用品があるときもあります。(寄付の状況によって異なります。)</li> <li>・当日利用者の持ち込みも可能なため、状況によっては寄付品がすぐに陳列されることもあり、何度も覗きに来る方もいらっしゃいます。</li> <li>・初回から大変好評で、毎回開始時刻には駐車場が満車になってしまうほど需要が高く、リピーターも多い事業となっています。</li> <li>・「つながる町だふあみりー」のメンバーの中には鶴川地域にお住まいの方もいて、主催者側もお子さん連れで参加してくださっています。</li> </ul>

事業名	Teen Comunication Club
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で学んでいる英語を使って会話することを楽しいと感じる。</li> <li>・色々な話題で参加者どうしコミュニケーションをとりながら、世界の文化にも目を向けていく。</li> </ul>
日時	毎月1回日曜日 午後4時～午後5時
主な対象と参加者数	中学生以上 10名
講師・協力者等	多文化クラブ DANRO
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使って楽しく講師とのやりとりや、ゲームを通して参加者同士のコミュニケーションをとっていく。</li> <li>・12月にはアメリカの風習に倣い、新しい年に向けての抱負や自分の夢を考え書き出し、1枚の画用紙に切り貼りして仕上げた。</li> </ul>
様子等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回は参加者みな緊張の面持ちで、言葉数も少なめでしたが、会が終わるころには講師のユーモアに微笑む姿も見られました。</li> <li>・講師が音楽やゲームを取り入れながら、楽しくリズムカルに進めてくださり、参加者たちも英語で発言しやすい様子があります。</li> <li>・毎回同じ生徒さんの出席が多いですが、つるっこのおたよりを見て参加してくれた方もいて、「すごく楽しかった！」と続けて参加してくれています。</li> </ul>

事業名	ユニバーサルスポーツ大会！
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で気軽にユニバーサルスポーツを親しむ。</li> <li>・チームで競い合い、勝敗のつく過程での楽しさや悔しさを体感する機会とする。</li> <li>・地域団体活動を支援する。</li> <li>・地域団体のネットワークの構築を推進する。</li> </ul>
日時	2023年11月25日(土曜日)午後1時30分～3時30分
主な対象と参加者数	・乳幼児 3名 ・小学生 25名 ・中高生 6名 ・保護者 5名 計 39名
講師・協力者等	町田市ユニカール協会 5名 野津田高校ユニバーサルスポーツ同好会 6名 教員 2名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニカール、ボッチャ、モルックの 3 競技に挑戦し、ユニバーサルスポーツについて幅広く体験する。</li> <li>・ユニカールについては大会を実施し、上位 3 名を表彰する。</li> </ul>
様子等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔月につるっこで実施している「ユニカールに挑戦！」は、年に一度大会を実施しています。今回は、野津田高校ユニバーサル同好会によるモルック、ボッチャ体験を同日に開催しました。</li> <li>・野津田高校の生徒さんたちに丁寧に対応してもらいながら、モルック、ボッチャに楽しそうに挑戦していました。中学生グループの参加もあり、大変盛り上がっていました。当日はシールラリーカードを用意し、3 種目挑戦し全シールを集めたら受付で星のシールをもらうことができ、カードのクリスマスツリーの頂点に貼れるようにしました。</li> <li>・最後にユニカールで高得点だった 3 名が賞状と商品が贈られ、3 人共とても嬉しそうでした。</li> </ul>

事業名	若者が市長と語る会
目的	・若者が市長との自由な意見交換を通して、自分が住む地域に関心を持ち、より愛着を深める。
日時	2023年11月26日(日)午後5時30分～7時
主な対象と参加者数	中学生から20歳くらい 9名(中学生2名、高校生3名、大学生等4名)
講師・協力者等	町田市長 秘書課 市民協働推進課 児童青少年課
内容	事前ワークショップ 自己紹介 テーマトーク 質問 感想 写真撮影
様子等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度から子どもセンター等を会場として実施されており、つるっこでは5回目の開催となりました。</li> <li>・事前ワークショップを11月11日(土)と当日の16時30分から行い、どんな会にしたいか、どんな話をしたいかなどの意見を参加者で出し合ったり、自己紹介やテーマトークで使用する表示の準備作業を、和気あいあいとした雰囲気で行いました。</li> <li>・自己紹介は、各々『推し』の画像とともにいき、一気に場の空気が柔らかくなりました。市長からも、若い頃に取り組んでいたことや得意な事を含めた自己紹介がありました。</li> <li>・アイスブレイクとして、市長に仕事の内容や悩みを聞いたり、各々の名前の由来を発表しました。</li> <li>・『学校の事』『まちの事』についてのテーマトークでは、参加者の意見を受けた市長からのコメントやアドバイスを興味深そうに聴いたり、さらに対話が深まる場面も見られました。</li> <li>・『町田の好きなところ』のテーマでは、参加者それぞれのお気に入りの場所を知ることができ、会の終了後もその場所の話題で盛り上がっていました。</li> <li>・参加者からは、「ほんわかとした雰囲気で話しやすく、たくさん話せて楽しかった。」「町田に住んでいるからこそ共感できることがあった」などの感想が、市長からは「意見を直接聴くことができて良かった。」という感想や、今後力を入れていきたいことについての話がありました。</li> <li>・最後に参加者全員で笑顔で記念写真を撮り、終了しました。</li> </ul>



## カワセミ通信

— 199 —

町田市長 石阪 丈一

冬になり、空気が澄んできました。青空のもと、雪をかぶった南アルプス北岳が丹沢山塊の向こうに遠望できるようになりました。先月、旅行先で求めた、百目柿という名の柿をバラダにつるしています。

広袴不動尊の大イチョウもすっかり黄葉し、境内にその葉が舞い落ちています。空の高みをツグミの群れが渡っていくのを見かけるようになりました。春、公園の芝地などで北の繁殖地に帰る群れをよく見かけますが、晩秋の、渡ってきた群れを見ることはあまりありませんでした。

さて、先月末に大蔵町の子どもセンターつるっこで「若者が市長と語る会」がありました。参加者は、中学生、高校生そして大学生で、10人ほどでした。「町田市は10年後、20年後どうなっていてほしいか」などをテーマに意見交換をしました。

今どきの若い人は、というのも変ですが、参加者各人それぞれ、個性的で、例えば、「好きなアーティスト」といってもみんなバラバラで、生活スタイルも活動分野も多様です。

その中で、中学生と大学生が普通に会話できているのも驚きでした。

町田市議会12月定例会では、新しい条例案「町田市子どもにやさしいまち条例」が議論されています。子どもの権利の保障を規定するのは勿論ですが、子どもの個性の尊重、多様な生き方をみんなが支えることなどを求めています。

条例案の策定過程では、「町田市子ども・子育て会議」を始め、多くの皆さんに加わっていただきましたが、特に、この条例の各条項に先立つ、「前文」の表現については、中学生、高校生、大学生にも意見を聴きながらまとめています。議決されれば、来年5月5日のこどもの日が条例施行日になります。市民のみんなが、子どもにやさしいまちの実現にとともに努力をしていくまちになることを願っています。



若者が市長と語る会(子どもセンターつるっこ)

事業名	つるっこホットフェス
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者に楽しい時間を提供する。</li> <li>・たくさんの人につるっこ子ども委員会の活動を知ってもらう。</li> <li>・子ども委員会のメンバーが、主体的に、力を合わせてイベントの企画・準備から実施までを行うことで、達成感を味わい、団結力を高める。</li> </ul>
日時	2023年12月18日(日) 午後1時～5時
主な対象と参加者数	対象:どなたでも 参加者数:284名
講師・協力者等	つるっこ応援し隊、鶴川地区青少年委員、和光大学児童文化研究会「たまたまばこ」野津田高校ユニバーサルスポーツ部、市民生活安全課、生涯学習総務課 鶴川地域子育て相談センター、他ボランティア
内容	①迷路 ②タッセル作り ③スタンプラリー ④ドッジボール ⑤きらきらタイム ⑥コッケブー作り ⑦ポッチャ&モルック体験 ⑧プレイコーナー ⑨輪投げ&ボウリングコーナー ⑩交通安全・防犯啓発コーナー ⑪つるっこじょうもん大作戦 ⑫食べ物等販売 ⑬キャンドルイルミネーション
様子等	<p>【各コーナーの様子】</p> <p>①迷路…雪うさぎの絵を探しながら進む、電飾やツリーで飾られた迷路。リピーターも含め、のべ150名以上の参加がありました。</p> <p>②タッセル作り…好きな色の毛糸を選び、台紙に巻いて作るタッセル。しっかりと結ぶ作業が難しそう様子も見られましたが、出来上がるととても嬉しそうでした。</p> <p>③スタンプラリー…館内をまわりスタンプを5つ集めるともらえる景品は、ルミカプレスレットが人気でした。</p> <p>④ドッジボール…とても盛り上がり、強めのボールが飛び交う時間もありましたが、進行を担う子ども委員が上手に働きかけ、幅広い年齢の子どもたちが楽しんでいました。</p> <p>⑤きらきらタイム…ペープサートやシルエットクイズ、手品など。小学生の参加も多く、2回とも盛況でした。</p> <p>⑥コッケブー作り…紙コップとタコ糸で作る、愉快的な鳴き声のにわとり。あちこちから鳴き声が聞こえてきました。</p> <p>⑦ポッチャ&amp;モルック体験…高校生が優しく楽しく教えてくれる様子を見て、初めてチャレンジしてみる子どももたくさんいました。</p> <p>⑧プレイコーナー…中学生が作った線路のレイアウトで電車を走らせるコーナーと、自由にブロックで遊べるコーナー。じっくりと楽しむ姿が見られました。</p> <p>⑨輪投げ&amp;ボウリングコーナー…大学生とのコミュニケーションも含めて楽しい様子で、何度も立ち寄っているお子さんもいました。</p> <p>⑩交通安全・防犯啓発コーナー…クイズに答えると1回ゲームができて景品がもらえるコーナー。ハンドルを回してカプセルがでてくると、嬉しそうに開けていました。</p> <p>⑪つるっこじょうもん大作戦…鶴川地区で出土された土器の展示と、まちだ縄文キャラクター『まっくう』の絵に好きな色を塗りお面を作るコーナー。あちこちから「まっくうだ…」との声があがっていました。</p> <p>⑫食べ物等販売…チョコバナナ、ミニカップ麺、駄菓子、鶴川団地のベーカリーのパン、バザーなどの販売。チョコバナナが特に人気で、早々に売り切れていました。</p> <p>⑬キャンドルイルミネーション…キャンドルを灯した屋上『らびゅた』の風景を楽しみ、子ども委員が扮したサンタクロースとトナカイから、お菓子のプレゼントをもらいました。</p>

事業名	放課後子ども教室「まちとも」運営協議会 情報交換会 (鶴川地域)
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴川地域のまちとも運営協議会の情報共有の場となる。</li> <li>・他校のまちとも運営協議会と交流することで、まちとも活動の課題の解決へとつなげる。</li> <li>・鶴川地域のまちとも活動の向上・促進、安定化を図る。</li> </ul>
日時	2023年11月10日(金)午前10時30分～正午
主な対象と参加者数	放課後子ども教室「まちとも」運営協議会 運営スタッフ(鶴川地域)
講師・協力者等	司会進行は、原則まちとも運営協議会とする
内容	各協議会のまちとも活動についての情報交換 (事前に各協議会に基本情報や交流したいテーマを入力するためのシートを配布、回収しテーマを決めて交流をする。)
様子等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A、Bの2グループに分かれ、交流を行いました。鶴川地域では、初めての地域交流会となりましたが、各協議会1名以上の参加があり、皆さん積極的に交流をしてくださっていました。</li> <li>・事前に各協議会にアンケートを配布していたため、基本情報は資料を基に情報交換を行いました。</li> <li>・A、Bグループそれぞれテーマを決めて交流を行いました。交流を深める中で気になったことは質問をしたり、各校のやり方を確認したりする場面も見られ、テーマ以外のことも活発に意見交換が行われていました。</li> <li>・1時間半という短い時間での交流会となり、皆さんから「良い機会だった。また交流をしたい。」「もっと色々な話が聞きたい。」といったご意見をいただきました。</li> <li>・皆さん積極的に参加してくださり、各協議会の課題や疑問などを直接質問したり、各校のアイデア等を知ったりする、良いきっかけとなったように感じました。</li> </ul>